

(指定様式)

## 団体調書【はじめての一步部門】

### (1) 団体概要

|                      |   |             |                                    |
|----------------------|---|-------------|------------------------------------|
| 団体名                  | 一般社団ドローンチーム<br>Nadeshiko  | HP 等<br>URL | 'https://nadeshiko-<br>drone.com/' |
| 団体種別と<br>設立年月        | <input type="checkbox"/> NPO 法人 ( 年 月)<br><input checked="" type="checkbox"/> その他法人 (2020 年 12 月)<br><input type="checkbox"/> 任意団体 ( 年 月) | 活動分野        | 1 4                                |
| 代表者名                 | 役職名: 代表理事<br>氏 名: 汐江満理子   | 会員数         | 8 名                                |
| 団体連絡先<br>(申請担当<br>者) |   |             |                                    |

### (2) 会員名簿

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  |
|--|--|--|--|

### (3) 団体の活動目的

|                |   |
|----------------|---|
| 活動の目的・目<br>標   | ドローン等のテクノロジーを通して わくわく未来をドローンで提案し、「楽しい」を心に刻む体験や豊かな人生・豊かなコミュニティの形成促進を目的とし、これらの目的に資するための事業活動を行う。また、テクノロジーに興味を示す高齢者対象、介護予防活動を行う。  |
| 活動の内容・活<br>動実績 | <ul style="list-style-type: none"><li>・豊田市交流館各所にてドローン講座実施</li><li>・未来都市推進課 ThinkSDG s ドローン講座(2019 年)</li><li>・厚労省委託事業 ドローン起業講座 (2020 年)</li><li>・額田郡幸田町生涯学習課 ドローンプログラミング 2020 年～</li><li>・豊田市ものづくりサポートセンター ドローン講座 2020 年～</li><li>・キッズプランナー 畝部小学校ドローン 操縦 体験 2021 年～</li><li>・W E L O V E とよたアワード受賞 2020 年～</li><li>・まちさとミライ塾参加 2021 年～ ・とよたつながる博 2021 年～</li><li>・初心者シニアのドローン講座 (通算 42 回開催)</li><li>・なでしこ Dojo 2022 年～ (通算 12 回)</li><li>・高等学校・中学校 ドローン活用授業</li></ul> |

#### (4) 補助金の使用用途と活用する活動・事業内容など

|   |
|---|
| <p><u>備品購入費</u><br/>プロジェクター 1個 金額 52,800円 見積書添付</p> <p>使用用途</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・講座の安全啓発に関する説明等に使用</li><li>・団体内の勉強会、事例研究等に使用</li></ul> <p>プロジェクターのない会場にも出張が可能となり、より広い地域へ広げられること。<br/>団体内の勉強会も場所を選ばず開催できるようになり、より充実した活動が見込まれること。</p> |
|---|

#### (5) 審査項目毎にアピールしたいこと

|  |  |
|--|--|
| <p><b>【課題】</b></p> <p>・社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。(趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか)</p> | <p>ドローンなどのテクノロジーは発展してきているが、一般家庭にはなかなか浸透しづらい現状がある。例えば、飛ばしてはいけないところでドローンを飛ばしてしまったり、飲酒後にドローンを操作してしまったりするなど、法令法規に関する知識がないままに事件や事故を起こしてしまう等である。そこで近い将来やってくるドローン前提社会についての安全啓発と、新しいテクノロジーをより身近に感じてもらう場の必要を感じている。また高齢者の孤立などを社会課題に感じており、テクノロジーに興味を持つ高齢者にアプローチ可能なツールとしてドローンを活用したコミュニティ形成を目指している。高齢者の生きがい・やりがいに繋がる活動となるよう、高齢者と子供を繋ぐイベント企画等を主体的に実施できる仕組み作りを行っている</p> |
| <p><b>【資金】</b></p> <p>・団体の自主的な財源を確保しようとしているか(会費・参加費等)。</p>                           | <ul style="list-style-type: none"><li>・団体会員、および協賛会員の会費</li><li>・参加者からの参加費の徴収</li><li>・出張講座等の講師謝礼</li><li>・助成金の申請</li><li>・協賛企業へのアプローチ</li></ul>  |
| <p><b>【継続性】</b></p> <p>・団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。</p> <p>・適正な事業計画が作成されているか。</p>        | <ul style="list-style-type: none"><li>・団体構成員それぞれの特性に合致した役割を担うことにより、得意な分野、助けて欲しい分野が相互に発信できる体制。これにより、苦手な分野は他のメンバーで補っていく体制が整っている。</li><li>・介護予防分野、子供向け講座、それぞれの担当リーダーが決まり、継続性の高い活動が整っている。</li><li>・事業計画に基づき活動を行えている。受託講座等イレギュラーな活動の際にも対応できる人員が育っている。</li></ul>   |